



野の花と風薫る郷から…

広報 たかもり

'94

6

No.418

平成6年6月5日発行



6月26日は
「はなしのぶコンサート」
です。



5月25日～26日に福岡市で行われた
「はなしのぶキャンペーン」の一コマ

今年も野山に野草の花が咲きはじめ、高森が原生地の「はなしのぶ」も、これからますます花の色を濃くして、私たちを楽しませてくれることでしょう。

「はなしのぶコンサート」と切り花出荷のPRなど、いろいろなところで「はなしのぶ」への取り組みが行われています。

人口の動き

(5月1日現在)
世帯数 2,525 (+10)
男 3,904 (+9)
女 4,237 (-8)
総 数 8,141 (+1)

高森町民憲章



一 水と緑と土のにおいいつ
ぱいの住みよい町にしま
す。 二 伝統を重んじ、文化の薰
る潤いのある町にします。
三 老人を大切にし、子供の
夢を育て幸せな町にしま
す。 四 勤労を尊び、産業を振興
し活力ある町にします。
五 スポーツに親しみ、心身
をきたえ健全な町にしま

おめでたおくやみ

(1994.4月受付分)

赤ちゃん
たんじょう



高倉 翔太ちゃん
(上色見) 3・26生
田上 主税ちゃん
(上色見) 3・28生
立石 勇気ちゃん
(高森) 4・6生
津留 出海ちゃん
(高森) 4・13生

孝美 一子
清恵 隆和
克洋 典子
洋子 元幸
親子 幸

さんの長男
さんの長男
さんの二男
さんの長女

一泊三食 介護サービス料込みの一日の費用
特別養護老人ホーム(梅香苑など) 1060円

(これは平成5年度の費用額です。
本年度は少し上がる見込みです。)

すえながく
あしあわせに

(三森 順利	高森 旭通	4・4
(木本あかね	白水 村	
(穴見 俊則	永野原 岩神	4・6
(今村美枝子	長陽 村	
(山永 宏	津留 下町	4・7
(住吉真由美	高森 村山	
(山部 洋巳	一の宮 宮町	4・8
(野尻 勝代	高森 上在	
(塚本 哲範	高森 下町	4・13
(河口 純子	五和 上在	
(野尻 広幸	高森 村山	4・21
(高村 麗美	嘉島 村山	
(桐原 伸夫	高森 蘇陽	4・25
(佐藤 美和	蘇陽 町	

おくやみ
もうしあげます

(住所) 永野原 堤 國雄	(御遺族) 堤 ツタエ	(死亡者) 86
高森 佐藤 重喜	佐藤アキエ	88
高森 佐伯 一	佐伯 慧	86
高森 野依ちとせ	野依 謙一	84
上色見 本田 一	本田 末玉	100
芹 口 有藤 良夫	有藤ササエ	88
津 留 甲斐 利治	甲斐 五己	34
高森 山邊 幸男	山邊ハツ子	75
高森 杉田 富雄	杉田 マヨ	82
高森 勇 健一	勇 テイ子	57

善意の灯

ありがとうございました(敬称略)

■町社会福祉協議会へ

〈香典返し〉堤 國雄、佐伯 一、甲斐富士郎、野依ちとせ、加藤文凡、有藤良夫、杉田富雄、山邊幸男、甲斐利治、村上元次、本川つや子
〈病気見舞返礼〉岩下健治
■広報送付寄付 熊川 康

▼今年も今月から梅雨シーズンに入ってきます。人家はもちろん、農地山林への被害が心配されます。気象情報に注意して早目に対応できるものは対策をしておきましょう。

奥阿蘇物産館がオープンし、七月一日からは山間の散歩など、森林の有効活用や自然保護、自然とのふれあうことの大切さに、あたためて地球規模での無秩序な開発と世界中の地域間競争、そして私たち人間の生活排水などの色々な問題。ぜいたくで便利な生活の「つけ」が最終的に地球の温暖化やオゾン層の減少など環境の破壊につながっていると言われ、ジワジワと住みにくい星になってしまっていると心配されています。★キャンプ場の大地に寝つこうがり、星を見ながらこんな話を子供たちに聞かせてみませんか。

みんなで考え
支えよう

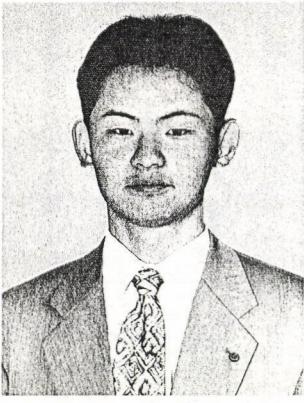
高齢社会

短期滞在

ショート・ステイ



燃える 若きやもん



矢津田・高尾野
井上寿一さん(18)

4月から町役場に奉職しています。学生の頃は許されず、大変責任の重い職場だと思います。

社会人としては「ヒヨッコ」ですが、町役場職員の一人として粉骨碎身頑張ります。

まだ、若くいきとどかないところが多々あると思いますので、御指導のほど宜しくお願いします。

プロフィール	
★勤務先	高森町役場 総務課 管財係
★血液型	明るい性格のA型
★趣味	ボーリング、カラオケなど
★やってみたいこと	ゴルフ

更新の四十日ほど前に公安委員会から期間、場所費用などを記載された更新の通知書が公安委員会から送られてきました。

ただし、更新日に七十二歳になる人は四年間となり、更新日に七十二歳以上になる人は三年間となります。

有効期限が五年となります。

また、免許証の有効期限欄の色が金色で表示されます。

お知らせのページ

運転免許証の更新

有効期限の延長

これまで、免許証の有効期間は三年間でしたが、誕生日が今年の六月十日以降平成八年五月九日までの間に免許証の更新をする方で、過去三年の間無違反の方は免許証の有効期限が五年となります。

また、免許証の有効期限欄の色が金色で表示されます。

更新の通知

更新手数料
講習手数料
簡易講習対象者及び一般運転者及び通常講習対象者
交通安全協会費
一年間分 五百円
二千五百円
一千五百円
七百円
七百円

商業統計にご協力を

全国の商業を営むすべての事業所を対象として、三年に一回この調査が実施されます。調査は七月一日現在での色々な状況を調査票に記入していただきます。

商業統計調査員が、商業を営まれているところにお伺いして詳しい内容を説明しますので、お忙しいところお手数ですが、ご協力をいただきます。

専門相談員による年金相談所が開設されます。国民年金、厚生年金、社会保険について相談を受けます。お気軽に相談ください。

■とき 六月二十二日(水)午前十時から午後三時まで。
■ところ 林業総合センター
二階中会議室

入札結果

工事名	金額
統合小学校建設に伴う地質調査依託	六百二十八万三千円

工期 五月二十日から六月二十五日まで

請負業者名 肥後地質調査株式会社

立野病院

立野病院

藤本医院

クリニツク

みなみ阿蘇

(8)0-1-1

6月19日

6月26日

7月3日

7月10日

6月19日

6月26日

7月3日

7月10日

立野病院

藤本医院

クリニツク

みなみ阿蘇

(8)0-1-1

(2)0-2-1

(2)0-2-0

(2)0-6-4

(2)0-0-2

(2)0-2-0

(2)0-2-2

(2)0-2-2

休日 在宅医

診療は午前9時から午後5時まで

町の特産品を開発・販売



屋根の高さは17m。二階には軽食、喫茶コーナーもあります。



今村町長によるテープカット



高森から車でゆっくり20分。奥阿蘇大橋もすぐ近くの奥阿蘇物産館の内部。(総床面積495m²一部二階建て)

奥阿蘇物産館オープン

どうぞおいで下さい。

かねてから建設中であった大字草部の奥阿蘇物産館が四月二十八日才オープンしました。式典には今村町長はじめ町関係者、町議会議員、駐在員、そして今後この施設を管理運営組合員など約五十名が出席。神事の後今村町長らが紅白のテープにハサミを入れました。現在のところ、特産品として販売されているのは牛皮細工、手作りパン、チョコレートや地元の若草、ひめゆり、はなしのぶの婦人グルーブを作った万十、手作りパン、カーリントウなど。今後も色々なアイデアで特産品が開発されます。また、特産品製作の体験教室なども計画されており、草部だけでなく町全体の発展のために大きな期待が寄せられています。

連休中はわらび狩りの人などたくさんのお客様が訪れ、職員さんたちはテンテコマイの忙しさ。嬉しい悲鳴をあげていました。

毎年開催されている「はなしのぶコンサート」は今年で十四回目を数えます。マンドリン奏者であり、作曲家としても有名な林田戦太郎さんが、はなしのぶをはじめとして原野に、可憐に、けなげに咲いた野草たちに感動し、その花たちに捧げて演奏しました。

その趣旨は変わりません。毎年、南阿蘇国民休暇園内で熊本市の尚絅高等学校ギター・マンドリンクラブにより演奏されてきました。

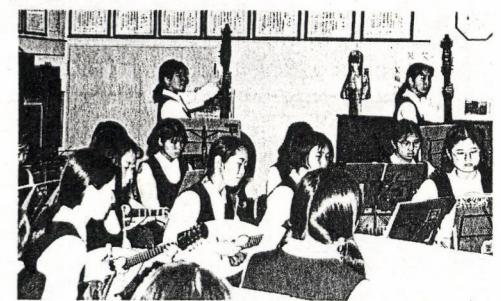
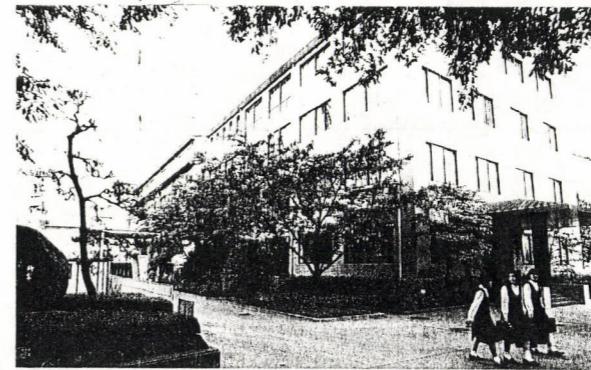
もうすぐ行きます♪

高森のみなさん 待ってくださいね

今年は六月二十六日に開催されます。その模様は次号で詳しくお知らせします。今月号ではそのコンサートの主役である、同部の皆さんにスポットを当ててみました。

尚絅高等学校 ギター・マンドリンクラブ

練習風景レポート



6月26日(日)は第14回 はなしのぶコンサートです。
午前10時半 阿蘇野草園内(南阿蘇国民休暇村内)

家庭教育

子どもたち
すばらしい
未来のために

おとうさん おかあさん 子育ての喜び 味わつてますか

育児は子どもが生まれたときから始まります。「子育ては、愛情をもつことが一番」という言葉があるように、親の愛情は子どもにとって最大の支えとなります。しかし、子どもが幼稚園、保育園そして学校などに通うようになると、今まで家庭内だけであった社会が、一回り大きな社会へと変わっていきます。愛情を注ぐのはもちろん、社会のルールを教えていかなければなりません。つまり、大人になるのを応援してあげることです。そこで役に立つのが、次に紹介する子育ての三つのポイント。ぜひ参考にしてみてください。

自分がしていいことを押しつけない
自分が教えたり、しつけたりするときは?
自分がしていないことを押しつけない。
何かを失わせるような言葉は避ける
自信を失わせるような言葉は避ける

子どもに何かを教える場合、簡単に言葉で説明するだけでは、なかなか理解してくれません。子どもは親の姿を見て育つといわれています。子どもに何かをさせたい、教えると思ったときは、まずお父さんお母さん自身が自分の行動を通して教えあげてください。そうすれば、子どもは自然と覚えるようになります。

子どもに押しつけない。何かをしつけたいときはまず親から。このことを心がけることが、よいしつけをすることへの第一歩です。

将来、子どもたちがどのような大人になるか、また、どのような才能を発揮し、どんな仕事をつかか、本人すら分かりません。ですから、男の子も女の子も、性別にとらわれることなく、いろいろなことを体験させてみてください。きっと、その体験のなかから自分に合ったもの、興味のあるものを子どもたちは、選択していくはずです。

「女の子だから、男の子だから



う。しかし、子どもはプライドを傷つけられてしまう場合もあります。このようなときは、子どものよい点を褒めてあげてから、しっかりとみてください。「いつもは優しいのにどうして今日はこんなことをしてしまったの?」と、例えは、いつも優しい子が隣の子どもをいじめたとします。この場合あなたならどうしますか。「なんていじめたの!」と一方的にしかりますか。たしかに、子どもはその場では謝るでしょ

うか。

う。しかし、子どもはプライドを傷つけられてしまう場合もあります。このようなときは、子どものよい点を褒めてあげてから、しっかりとみてください。「いつもは優しいのにどうして今日はこんなことをしてしまったの?」と、例えは、いつも優しい子が隣の子どもをいじめたとします。この場合あなたならどうしますか。「なんていじめたの!」と一方的にしかりますか。たしかに、子どもはその場では謝るでしょ

木村理恵さん西日本剣道大会で準優勝



木村さん

さめました。「子供が一年生に入ることから、一緒にまた練習を始めました。体力づくりになるし、子供と共通の趣味が持てることも嬉しいです。」と話す木村さん。

練習は水曜日と日曜日を除いて毎日行われ、取材にお邪魔したときも熱心な指導で、子供たちも一生懸命に練習していました。木村さんそして児童のみなさん。これからも頑張ってください。

五月十五日、福岡市の福岡武道館で行われた西日本家庭婦人剣道大会において、本町旭通りの木村理恵さん（三段）が三十歳未満の部で準優勝しました。木村さんは一昨年に優勝しており、剣道は小学校から始めたという実力者。今回惜しくも僅差で二位となつたものです。



大津町つづじ祭り剣道大会で優勝した高森小メンバー

左から 木村勇太、安方裕二、

高木陽一郎、木津京三、

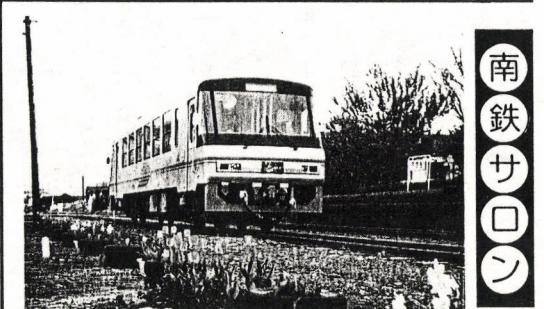
木村允哉、植田雄貴君

愛鳥週間

上色見小学校が観察記録を発表

県の野鳥保護の集いで、上色見小学校の五年生四人が「自然と鳥と友達」と題して日頃の観察記録などを発表しました。これは愛鳥週間の意識を高め、愛鳥精神と自然保護の重要性を啓発することを目的として、県が毎年開催しているものです。今年は、五月八日に上益城郡御船町の「くまもと野鳥の森」で開催され、

三加和町や新和町の子供たちの発表とともに同校の児童四人が力を合せて作り上げた、たくさんの資料をもとにして鳥や自然の大切さを訴える素晴らしい発表をしました。同校は昨年まで愛鳥モデル校にも指定されるなど、愛鳥精神と自然保護に力を入れています。



南鉄サロモン

高森駅構内にある古いタイヤを利用して植木鉢にチュウリップ、スイセンが咲きほこり、連休に高森を訪れた観光客の日を楽しませました。これらは環境美化の一環として町から球根の助成を受け、また、青年部のボランティアにより植え替えるなどの整備をしてきたものです。今年もその内的一部が花を咲かせており、来年の開花が楽しみです。

南鉄では、ドラム缶を改造した塵焼却炉を販売しています。煙突はありませんが、灰の取り出しが容易に行えるように色々と工夫してあります。価格は2300円。その他、バーベキュー用具も注文に応じます。お問い合わせと注文はお気軽にどうぞ。☎2-0058

現部員数37名。昭和41年創立で今年が28周年目。卒業生約400名という伝統を受け継ぎ、毎年素晴らしい演奏と実績を残しているクラブである。正門を入ってほとんど正面に学校がある。次の日から試験休みということで、あつかましくもお願いすると快く受け入れていただき、突然お邪魔することになった。部室に入っていくと「こんなちはー」と明るい元気な声が響き合う。すぐに座布団をすすめられ、コーヒーの接待を受ける。音楽面だけでなく、礼儀作法など人格形成面にも重点が置かれているのがわかる。

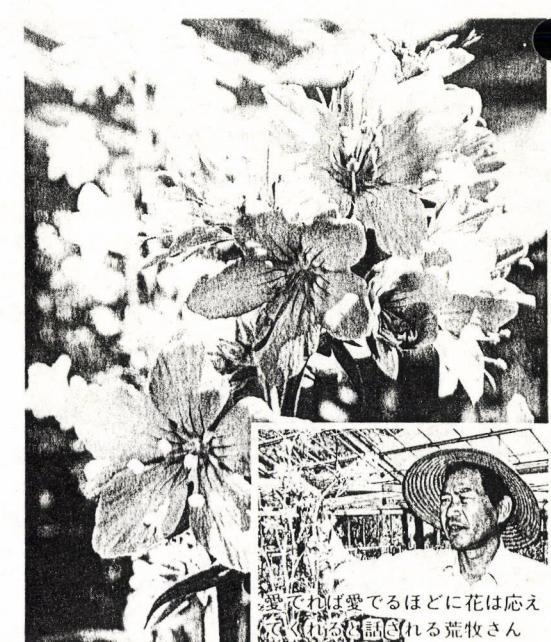
入部時にはほとんどが初めてマンドリン、ギターなど楽器を手にするという彼女たちも、先生の指導と永く築かれてきた伝統の重みを自覚し、自らの向上心でメキメキと腕を上げ、驕り高ぶらず、またそれが伝統に磨きをかけることになる。「その年々によって人間的にも音楽面でも、生徒の個性に違いがみられるのが面白い。良いところはどんどん伸ばしてやることが大切。」と先生は話される。先生の指揮で練習開始。40畳ほどの練習場に「田舎のボルカ」や「美しき青きドナウ」などのバランスのとれた、心地良いハーモニーが響く。生徒一人ひとりが先生の指揮に吸い込まれるように集中し、それぞれのパートがまとまって、しっかりととしたきれいな音を出しているのが良くわかる。

今後は7月のコンクールと9月の定期演奏会に焦点を合わせての活動となる「3年生の活動はここまでです。」と片岡主将は少し寂しげに語る。2年後には30周年を迎えるので卒業生も交えた記念コンサートも企画されている。今後も培われた伝統を誇りにして、また新しい試みを取り入れながら、変わりない部員の和で益々発展していくだろう。はなしのぶコンサートでの演奏の素晴らしさを確信し、定期演奏会に絶対にお邪魔することを誓って、先生と生徒さんにお別れした。(取材協力ありがとうございました。)

今年のおもな活動予定：7月下旬 熊本県マンドリンコンクール
9月15日 定期演奏会（メルバルクホール）

はなしのぶの栽培に着手

町産業の発展を願つて



大字高森上在の荒牧国明さんは昨年十二月中旬から県などの指導を受けながら「はなしのぶ」の栽培を手がけてきました。栽培面積は全部で反(10a)その半分を電気照明を使い、残りの半分はガラスハウスのままに自然光で試験栽培を行ってきたのです。荒牧さんは、はなしのぶ本

來の色合いや長持ちする方法など研究を積み重ねながら良いものを作りたい。また、農閑期にもできる仕事でもあり、はなしのぶコンサートで有名になつたこの花を活かして、町産業の振興と町の活性化につなげていって欲しい。そして、見かけなくなってきたツクシマツモトやヤツシロソウなども育てて自分たちも楽しみながら、山に返す収穫もしてみたいと話される。

また、荒牧さんは、毎年のはなしのぶコンサート演奏に感謝して尚納高校に、はなしのぶの切り花を贈られました。



左から後藤翼、後藤勇樹、徳丸恵美、荒牧美穂さん

